

1. 職名及び人員 教授 1名
2. 所属 システム科学技術学部 知能メカトロニクス学科 電気電子応用システム講座
(現・制御システム講座より改称予定)
3. 専門分野 電気電子応用システム分野
電気エネルギー応用工学関連、電気エネルギー変換、発生、貯蔵、効率的利用、パワーエレクトロニクス等のいずれかの分野の研究経歴と業績を有し、電気工学関連あるいは制御工学関連科目に対応でき、モータ制御やロボット制御、航空機・自動車の電動化などの秋田県の重要施策に関連する電気エネルギー応用分野の研究にも熱意を持ち、本学における教育と地域貢献に意欲を持って取り組む方を求めます。
4. 担当授業科目 電気エネルギー応用工学関連科目(パワーエレクトロニクス、エネルギー変換工学など)、制御工学、システム科学応用、メカトロニクス通論(実習)、セミナー、卒業研究、修士論文指導など
5. 応募資格 (1)博士の学位を有し研究上の業績を有すること
(2)大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有する者
(3)当該分野の教育と研究に熱意を持ち、地域貢献にも意欲のある者
(4)国籍は問わないが、日本語が堪能な者
(5)採用が決定した場合、確実に着任できる者
6. 採用予定日 令和5年4月1日
7. 勤務条件等 (1)身分 公立大学法人職員として採用
(2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制(本学給与規程による。)
(3)勤務 裁量労働制
(4)任期 5年の任期制(再任回数に制限はありません。)
(5)定年 67歳
8. 応募書類 (1)履歴書(本学所定の様式1による。*)
(2)研究業績書(本学所定の様式2による。*)学術論文は、①学術論文(査読付き)、②国際会議発表論文(査読付き)、③その他に分類して記載してください。また、主要なものを5編に○をつけてください。
(3)主要論文5編(コピー可)
(4)これまでの研究、教育及び社会活動(地域貢献を含む)の概要(1000字程度)
(5)教育に対する抱負(1000字程度)
(6)研究・地域貢献に対する抱負(1000字程度)
(7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
(8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧
注) *印: 履歴書(様式1)及び研究業績書(様式2)については、
ホームページ(<https://www.akita-pu.ac.jp/about/saiyo/>)をご参照下さい。
9. 応募締め切り 令和4年10月31日(月)
10. 選考方法 (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接
(2)第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接
※第一次選考及び第二次選考の面接はオンラインで実施する場合があります。
※対面にて面接を実施する場合の旅費等は自己負担となります。
11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先
(1)提出先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部 本荘キャンパス 教員選考委員長 水野 衛
※封筒の表に「知能メカトロニクス学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付してください。応募書類は返却致しません。
(2)問合せ先 〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口84-4
秋田県立大学システム科学技術学部知能メカトロニクス学科長 能勢 敏明
TEL: 0184-27-2106(ダイヤルイン)E-mail: t_nose@akita-pu.ac.jp
12. その他 本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

(次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法に基づく公立大学法人秋田県立大学一般事業主行動計画:

https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/about/houjin/keikaku/20210317_koudou02.pdf)

今回の公募で求める人材像

電気エネルギー応用工学は、知能メカトロニクス学科の将来に向けて重要な分野です。知能メカトロニクス学科の将来的な教育研究方針に照らし合わせて学科の講座体制の見直しを行い、電気電子応用システム分野を専門とし特に電気エネルギー応用工学に関連する、教育・研究や地域貢献に意欲をもって率先して取り組める教授として向上心のある適格な人材を求めます。

各領域に関する具体的な人材像は以下の通りです。

[教育]

メカトロニクスを構成する学問分野である機械工学、電気電子工学の内、電気電子工学を中心に教育を行うことができる人材、特に、電気エネルギー応用工学に関連する教育に取り組める人材を求めます。

[研究]

最近の社会的要求により、クリーンエネルギー化、脱炭素、省エネルギー等の課題解決に向けて、電気エネルギーの有効活用が大変重要になっています。今後も、モータ制御、ロボット制御、航空機・自動車の電動化等の電気エネルギー応用分野が益々重要になる事は十分予想され、当該分野に関連する研究に熱意と能力を持つ人材を求めます。

[地域貢献]

秋田県の特徴を生かし、今後の人口減少社会に対処していくためには、工業・農林業・エネルギー・輸送機等の産業分野において新事業の創出と、既存の事業を含めて、その拡大・発展に携わる人材の育成が必要です。特に、秋田県の重点施策になっている風力発電、航空機電動化、自動運転等の取組は電気エネルギーの制御に関連した技術が重要であり、県立大学として地域が取り組む課題に対して意欲的に取り組める人材を求めます。

本学は、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援、環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。

令和5年度 知能メカトロニクス学科大講座・グループ構成

機械工学と電気電子工学に関する広い専門知識を有し、これらの技術分野を統合して形成されるメカトロニクスシステムをシステム思考に基づいて設計・開発でき、日本・地域における産業の将来に貢献できる実践的な技術者を育成する。

知能化機械システム講座

●知能化機械システム研究グループ

センサやアクチュエータおよび産業向け高性能制御手法の開発と、高齢者介護や農業支援、鳥獣害対応ロボット、産業用ロボットへの応用研究を行っています。各種力学、制御工学、電子工学、人工知能アルゴリズムなどを総合し、人間の生活、環境、産業に寄与する、ロボットやメカトロニクスシステムなどの知能化機械の研究開発に取り組んでいます。

電気電子応用システム講座（現・制御システム講座より改称予定※）

●制御システム研究グループ（現・制御システム基盤研究グループより改称予定※）

複数の変数を持つ多次元システムの制御、量子制御した電子顕微鏡等の研究をしています。また、研究成果の応用分野についても積極的に研究・開発を進めています。

●電気システム研究グループ（現・応用制御システム研究グループより改称予定※）

無線通信用の増幅器やアンテナ、電磁ノイズの減少方法、線形制御系の設計・解析や知的最適化等の研究をしています。また、電気や磁気を応用した、低速大トルクのバーニアモータや大気圧プラズマ生成等の電気エネルギー応用に関連する研究を行っています。

電子材料・デバイスシステム講座（現・電気電子システム講座より改称予定※）

●先進物性デバイス研究グループ

環境エレクトロニクス、エネルギー変換分野に関する材料・プロセス・デバイス・回路の研究として、ナノカーボン材料を用いた熱電・光電変換、高効率環境発電・無線電力伝送に関する研究を行っています。また、液晶材料の超高周波デバイス・光デバイス応用に関する研究を行っています。さらに、地域の研究開発を支援するための共同研究も積極的に行っています。

※ すべて令和5年4月1日付で改称予定